

■修正案 (328 ページの後に追記)

(4) 調査結果

3) 低周波音圧レベル (1-80Hz)

低周波音圧レベル測定結果を表 4. 4-7 に示す。

低周波音圧レベルは、押出公民館の屋内調査地点の St. 8 が低い音圧レベルであった。

また、類似施設近接地点の St. 10 は St. 11 に比べ 5dB 大きい値となっていた。

表 4. 4-7 低周波音調査結果(低周波音圧レベル)

単位: dB

調査地点		昼間 6～22 時	夜間 22～6 時
最終候補地境界	St. 1	75	55
	St. 2	62	61
	St. 3	76	59
押出公民館屋内	St. 8	60	56
押出公民館屋外	St. 9	75	62
類似施設近接地点	St. 10	69	63
類似施設敷地境界	St. 11	63	58

注：パワー平均値

4) 予測方法

② 発生源低周波音圧レベルの設定

類似施設より 5.6mの距離で測定した低周波音圧レベルは昼間の L_5 が 70dB (G)、 Leq が 68dB(G)であった。

そこで、計画施設の発生源低周波音圧レベルは、施設から 5.6mの距離において、 L_5 で 70dB(G)、 Leq で 68dB(G)とする。

③ 発生源からの距離減衰の検討

類似施設の近接地点測定結果と敷地境界測定結果の周波数別の低周波音圧レベルを図 4.4-6 に示す。両地点の周波数別の低周波音圧レベル差をみると、周波数が低い方が小さく、周波数が高い方が比較的差が大きい。一般的に周波数が低いほうが距離減衰しにくいといわれていることから、今回の測定結果において類似施設から発生する低周波音の距離減衰が測定できているものと判断した。

また、低周波音と可聴音の距離減衰の比較を図 4.4-7 に示すとおり、低周波音の距離減衰と可聴音の距離減衰を比較すると、低周波音の距離減衰が小さい値となっており、距離減衰の設定は妥当と判断できる。

そこで、表 4.4-10 に示すとおり、測定地点 2 地点の距離と音圧レベルの差から、低周波音圧レベルは約 80m 離れた地点で 6dB(G)減衰するとした。

表 4.4-10 低周波音レベルの距離減衰

項目	発生源から 5.6m地点	87.2m地点	約 80mの距離減衰値
L_5	70dB(G)	64 dB(G)	6 dB(G)
Leq	68dB(G)	62 dB(G)	6 dB(G)

4) 予測方法

② 発生源低周波音圧レベルの設定

類似施設より 5.6mの距離で測定した昼間の G 特性音圧レベルは L_5 が 70dB (G)、 Leq が 68dB(G)、低周波音圧レベル (1-80Hz) は 69dBであった。

そこで、計画施設の発生源低周波音圧レベルは、施設から 5.6mの距離において、G 特性音圧レベルとして L_5 で 70dB(G)、 Leq で 68dB(G)、低周波音圧レベル (1-80Hz) として 69dB と設定する。

③ 発生源からの距離減衰の検討

類似施設の近接地点測定結果と敷地境界測定結果の周波数別の低周波音圧レベルを図 4.4-6 に示す。両地点の周波数別の低周波音圧レベル差をみると、周波数が低い方が小さく、周波数が高い方が比較的差が大きい。一般的に周波数が低いほうが距離減衰しにくいといわれていることから、今回の測定結果において類似施設から発生する低周波音の距離減衰が測定できているものと判断した。

また、低周波音と可聴音の距離減衰の比較を図 4.4-7 に示すとおり、低周波音圧の距離減衰と可聴音の距離減衰を比較すると、低周波音の距離減衰が小さい値となっており、距離減衰の設定は妥当と判断できる。

そこで、表 4.4-10 に示すとおり、測定地点 2 地点の距離と音圧レベルの差から、G 特性音圧レベル、低周波音圧レベルともに約 80m 離れた地点で 6dB(G)減衰するとした。

表 4.4-10 低周波音レベルの距離減衰

項目		発生源から 5.6m地点	87.2m地点	約 80mの距離減衰値
G 特性 音圧レベル	L_5	70dB(G)	64 dB(G)	6 dB(G)
	Leq	68dB(G)	62 dB(G)	6 dB(G)
低周波音圧レベル		69dB	63 dB	6 dB

■修正前 (332 ページより抜粋)

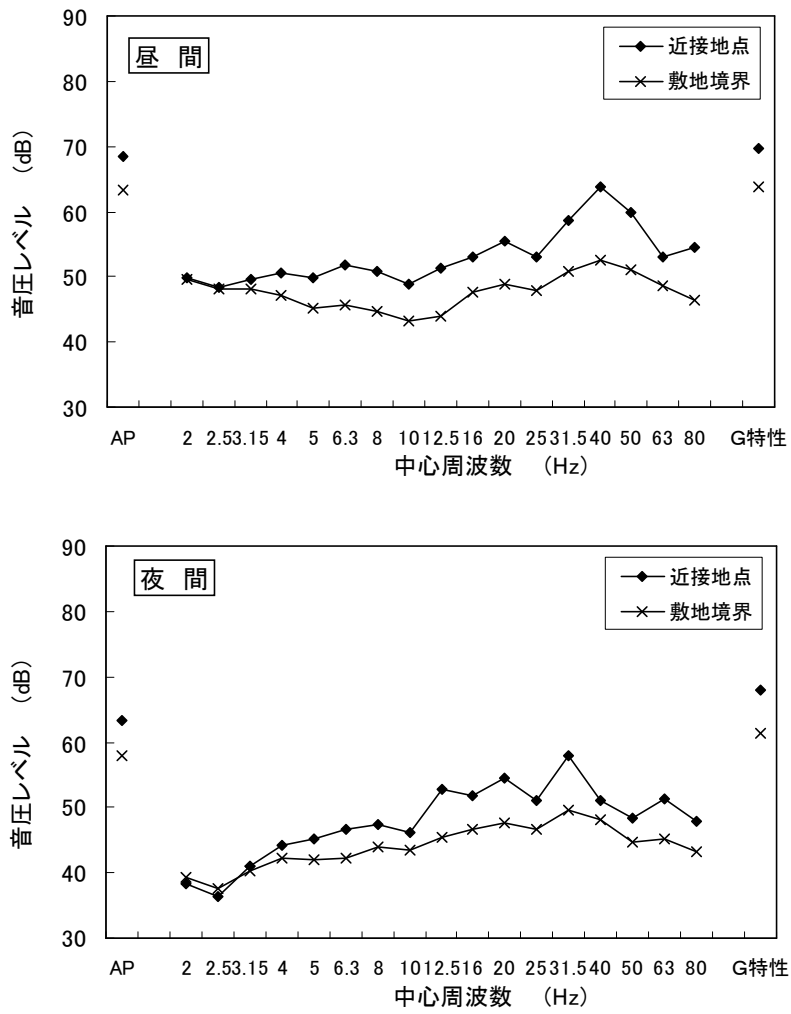


図 4.4-6 近接地点と敷地境界における周波数別音圧レベル

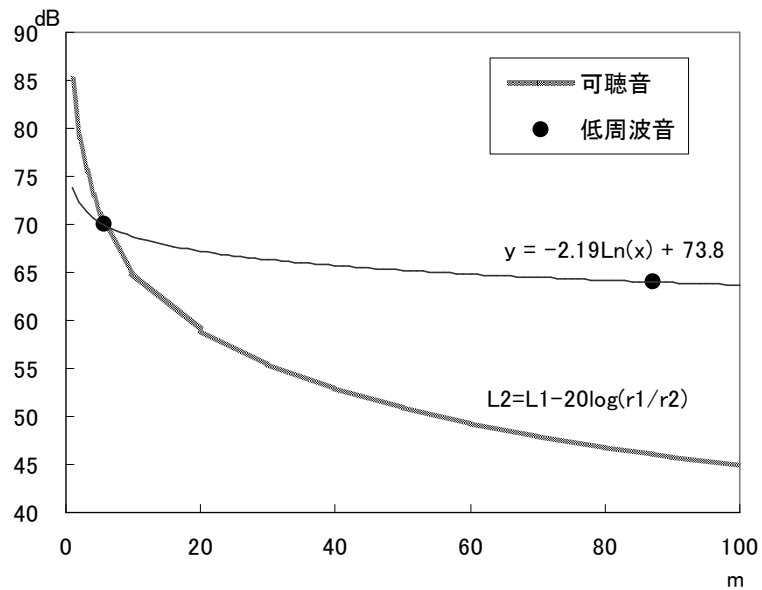


図 4.4-7 低周波音と可聴音の距離減衰の比較

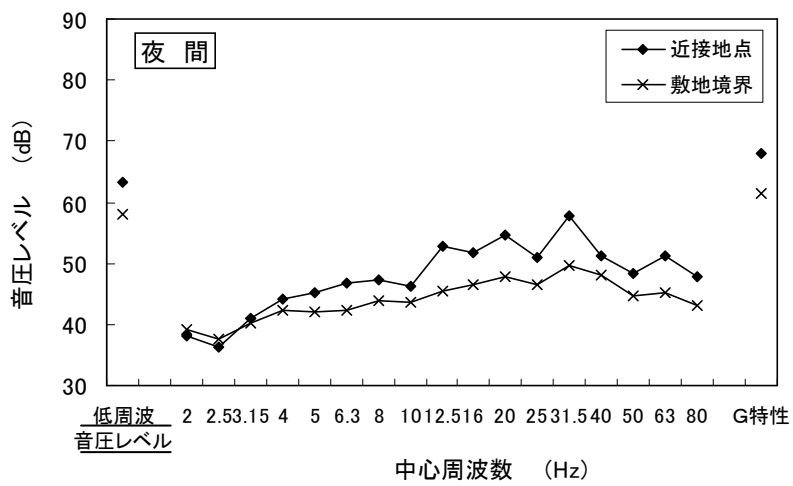
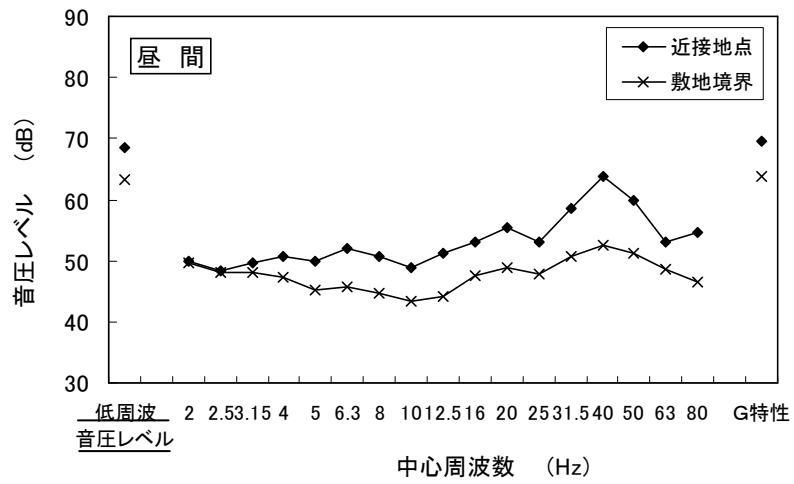


図 4.4-6 近接地点と敷地境界における周波数別音圧レベル

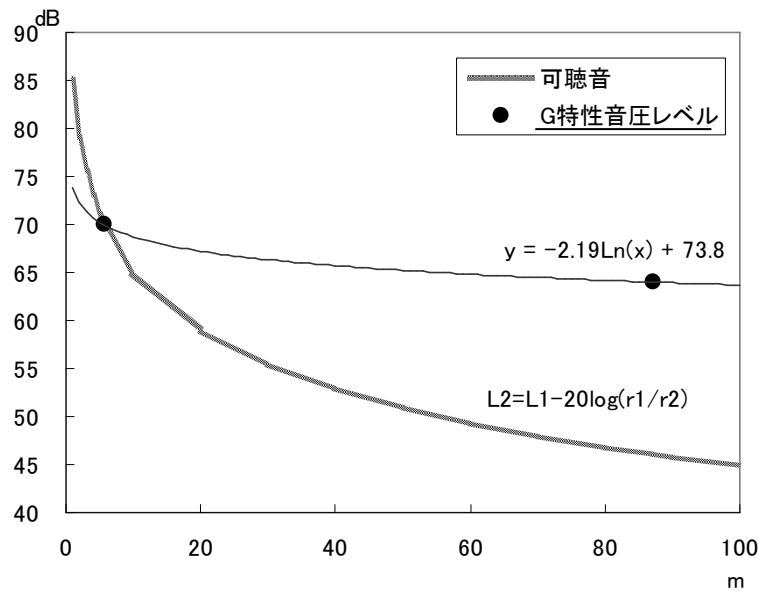


図 4.4-7 低周波音と可聴音の距離減衰の比較

■修正前（333 ページより抜粋）

5) 予測結果

類似施設の測定データからエネルギー回収推進施設から発生する低周波音は 80m以上離れた地点においては、G 特性低周波音圧レベルとして 64dB(G)以下となると予測する。

この結果をもとに各地点の予測値を表 4. 4-11 に示す。

St. 3 以外の地点では、予測地点までの距離が 210～310mのため、エネルギー回収推進施設から発生する低周波音は L_5 で 64dB(G)以下、 Leq で 62dB(G)となると予測する。

St. 3 では距離が 30mであることから、エネルギー回収推進施設から発生する低周波音は L_5 で 64～70dB(G)程度、 Leq で 62～68dB(G)程度となると予測する。

表 4. 4-11 施設の稼働による低周波音予測結果

単位：dB(G)

地点No.	エネルギー回収推進施設までの距離	予測値	
		L_5	Leq
St. 1	210m	64 以下	62 以下
St. 2	210m	64 以下	62 以下
St. 3	30m	64～70	62～68
St. 9	310m	64 以下	62 以下

■修正案

類似施設の測定データからエネルギー回収推進施設から発生する低周波音は 80m以上離れた地点においては、**G 特性音圧レベルとして 64dB(G)以下、低周波音圧レベルとして 63 dB 以下**となると予測する。

この結果をもとに各地点の予測値を表 4. 4-11 に示す。

St. 3 以外の地点では、予測地点までの距離が 210～310mのため、エネルギー回収推進施設から発生する **G 特性音圧レベル**は L_5 で 64dB(G)以下、 Leq で 62dB(G)以下、**低周波音圧レベルは 63dB 以下**となると予測する。

St. 3 では距離が 30mであることから、エネルギー回収推進施設から発生する **G 特性音圧レベル**は L_5 で 64～70dB(G)程度、 Leq で 62～68dB(G)程度、**低周波音圧レベルは 63～69dB 程度**となると予測する。

表 4. 4-11 施設の稼働による低周波音予測結果

地点No.	エネルギー回収推進施設までの距離	予測値		
		G 特性音圧レベル dB(G)		低周波音圧レベル
		L_5	Leq	dB
St. 1	210m	64 以下	62 以下	63 以下
St. 2	210m	64 以下	62 以下	63 以下
St. 3	30m	64～70	62～68	63～69
St. 9	310m	64 以下	62 以下	63 以下

■修正前 (335 ページより抜粋)

② 環境保全に関する目標との整合性に係る評価

G 特性音圧レベルの予測結果は、表 4.4-14 に示すとおり、予測値が現況値とほぼ同程度であり、低周波音圧レベルの大きな変化はないことから、全ての地点で環境保全に関する目標との整合性は図られているものと評価する。

ただし、施設の詳細な設備・機器については現時点では未確定であり、存在・供用時に稼働する設備・機器の種別、配置等が予測条件と異なる場合が考えられる。そのため、施設の稼働に際しては、事後調査を行う。その際、施設の稼働に伴う低周波音が周辺環境に影響を及ぼしていることが確認された場合には、適切な対策を実施することとする。

表 4.4-14 環境の保全に関する目標との整合性に係る評価

単位：dB(G)

地点No.	項目	現況値		予測結果
		昼間 6～22 時	夜間 22～6 時	
St.1	L ₅	64	61	64 以下
	L _{eq}	64	59	62 以下
St.2	L ₅	64	72	64 以下
	L _{eq}	61	69	62 以下
St.3	L ₅	71	67	64～70
	L _{eq}	65	66	62～68
St.9	L ₅	70	70	64 以下
	L _{eq}	67	68	62 以下

■修正案

② 環境保全に関する目標との整合性に係る評価

低周波音の予測結果は、表 4.4-14 に示すとおり、予測値が現況値とほぼ同程度であり、大きな変化はないことから、全ての地点で環境保全に関する目標との整合性は図られているものと評価する。

ただし、施設の詳細な設備・機器については現時点では未確定であり、存在・供用時に稼働する設備・機器の種別、配置等が予測条件と異なる場合が考えられる。そのため、施設の稼働に際しては、事後調査を行う。その際、施設の稼働に伴う低周波音が周辺環境に影響を及ぼしていることが確認された場合には、適切な対策を実施することとする。

表 4.4-14 環境の保全に関する目標との整合性に係る評価

地点No.	項目	現況値		予測結果	
		昼間 6～22 時	夜間 22～6 時		
St.1	G 特性音圧レベル	L ₅	64dB(G)	61dB(G)	64 dB(G) 以下
		L _{eq}	64dB(G)	59dB(G)	62 dB(G) 以下
	低周波音圧レベル	77dB	55dB	63dB 以下	
St.2	G 特性音圧レベル	L ₅	64dB(G)	72 dB(G)	64 dB(G) 以下
		L _{eq}	61dB(G)	69 dB(G)	62 dB(G) 以下
	低周波音圧レベル	62dB	61dB	63dB 以下	
St.3	G 特性音圧レベル	L ₅	71dB(G)	67 dB(G)	64～70 dB(G)
		L _{eq}	65dB(G)	66 dB(G)	62～68 dB(G)
	低周波音圧レベル	76dB	59dB	63～69dB	
St.9	G 特性音圧レベル	L ₅	70dB(G)	70 dB(G)	64 dB(G) 以下
		L _{eq}	67dB(G)	68 dB(G)	62 dB(G) 以下
	低周波音圧レベル	75dB	72dB	63dB 以下	